



共 育

ノートチャンピオンの取組を始めました。

児童は、ノートを使い終わったら校長室へ持ってきます。校長室では、ノート1冊につき児童名簿に○をつけていきます。○の多い児童を年度末に表彰したいと思います。

勉強の方法には、「読む」「話す」「書く」等がありますが、この取組のねらいは、1人でもできる「書く」勉強をたくさんしてほしいということです。学校では授業中にノートに書いて勉強していますが、ご家庭でも自学ノート等に書いて勉強する習慣の形成にご協力をお願いします。

～脳を鍛えるには書くことが一番～

私たちは、運動をして体を鍛えます。脳も体と同じように使えば鍛えることができます。鍛えられるといっても、脳というのは私達が使ったつもりでいても、実際には使っていないという場合も多いそうです。

例えば、いろいろな考え事をしている時、さぞ脳をたくさん使っている事だろうと思うかもしれませんが、実際にはあまり働いていません。また、情報がたくさん流れるテレビを見ている時も、ほとんど脳は活性化していないそうです。

一方、書くことは、単に言語中枢を使っているだけでなく、脳の広範囲の部分が組み合わさって働くことになります。書こうとすると、まず自分の頭の中にある知識や記憶を探る作業が始まります。これらの情報は、脳の脳皮質にある神経細胞のネットワークの中にしまい込まれています。書く際、このネットワークから情報が取り出され、必要に応じて組み合わせられます。さらに書くためには文字の意味や形を思い出しながら、手や指も動かすことになり、脳の広範囲が活発に働くことになるのです。



気多大社写生会入選者

5月5日に行われた気多大社写生会の入選者は次の皆さんです。

1年生	銅賞	岡田	小笠原	5年生	銅賞	辻口
2年生	銅賞	今江	徳島		入選	森多
3年生	最高賞	至極		6年生	金賞	至極
	金賞	安田			入選	小笠原
	銅賞	岡田				森多
	入選	油谷				
4年生	金賞	角	折田			
	銀賞	崎田				
	銅賞	小笠原	中居			
	入選	今江	馬場			

8020 運動受賞者

ポスター部門	優秀作品	6年生	堅田	山本
標語部門	優秀作品	6年生	多々見	松生